

## 玉野総合医療専門学校紀要 投稿規定

2019.4.24 改定

### 1. 投稿資格

本紀要への投稿者は、玉野総合医療専門学校に所属する職員（非常勤職員を含む）であることを原則とする。ただし、共著者についてはこの限りではない。共著者が他機関の所属である場合は連絡先を紀要委員会に提出すること。

### 2. 論文の種類

本紀要に掲載される論文の種類は、総説、原著、短報、報告、資料とする。

### 3. 投稿原稿の構成は、原則として表1のとおりとする。

表1 投稿原稿の構成

項目	内容	文字サイズ・行間
表題	論文の題名	中央揃え フォント：太字明朝 12.0
著者名	著者名 共著者名	中央揃え 表題から1行空ける。フォント：明朝 10.5 名字と名前の間は詰める。名字又は名前が1文字の場合、この限りではない。 [例] 玉野花子 玉野 専 玉 専子 共著者が4名以上の場合は2行にする。
所属	著者、 共著者の所属	著者の所属は氏名の右肩に番号*1を付し、そのページの下に番号*1とともに所属機関、部署の順に表記する。共著者がいる場合には順次番号*2 *3を付し同様に表記する。
要旨	内容の要旨	<b>要旨：</b> 著者名から1行空ける。フォント：太字ゴシック 10.5 本文は明朝 10.5
キーワード	キーワード	<b>キーワード：</b> 前後1行空ける。フォント：太字ゴシック 10.5 語群は5語以内、1行までです。フォント：明朝 10.5
本文	中央大見出し	前後1行空け、番号を付けない。 フォント：太字ゴシック 10.5 [例] <b>はじめに 研究方法 結果 考察 結論</b> <b>おわりに 謝辞 文献</b>
	小見出し	中央大見出し区分以下の小見出しに番号を付ける場合は、 <b>1. 2. 3. … 1) 2) 3) … (1) (2) (3) … (a)</b> <b>(b) (c)</b> の順序で使用する。フォントサイズ 10.5 括弧、英数字ともに、全角で太字ゴシックとする。
謝辞	(省略も可)	フォント：明朝 10.5
文献		文献の記載は執筆要領2に従う。 フォント：明朝9.0 片括弧は全角、文献番号は半角でcenturyを使用する。

#### 4. 論文の投稿，受理および掲載

- 1) 論文の提出先は共有フォルダーにある紀要委員会の当該巻のフォルダーとする。
- 2) 他誌に発表された，または発表予定の論文の投稿は認めない。また，本紀要に掲載された，または掲載予定の論文の他誌への発表も認めない。掲載された論文の一部を異なった目的の論文に引用することは可能な場合もあるので，紀要委員会に申し出る事。
- 3) 投稿された論文の掲載の決定は校長が行う。

#### 5. 投稿の方法

- 1) 著者の所属部署で内容や方法などを検討した投稿原稿は，本文（図，表，写真，抄録などを含む）を1部，印刷出力し提出すると同時に，本校ネットワークの紀要原稿へ入力する。
- 2) 本紀要への投稿，編集，印刷等に関する問い合わせは紀要委員会とする。

#### 6. 掲載料，別刷料

掲載料等については，執筆要領に定める制限範囲の本文，図および表については，原則としてこれを徴収しない。ただし，写真および制限を越える本文，図，表については印刷実費を徴収する必要がある。

原則として1原稿30冊を越える別刷については印刷実費を徴収する。

#### 7. 校正

著者校正とする。その際の内容の加除は原則として認めない。

## 論 文 の 執 筆 要 領

#### 1. 原稿の書き方

- 1) 使用言語は和文または英文とする。  
論文の長さは投稿一編につき刷り上がり10ページ程度とする。表題，要旨，キーワード，本文，謝辞，図，表，写真，引用文献などすべてを含む。和文の場合は，MS明朝10.5ポイントを使用し，A4版の用紙に1頁40字40行の字数（上下左右の余白は3cm）とする。
- 2) 和文原稿は表1の構成で作成し，外国の人名・地名などの固有名詞は，原則として原語を用いる。その他の外国語はなるべく訳語を用いて記載する。外国語の略語を用いる場合は，初出の際に略語の後に（ ）をつけて原語を示しておく。計量単位は，原則として国際単位系（SI）を用いる。数を表示する場合は，原則として算用数字を用いる。外国語や計量単位，数はcentury10.5ポイントを使用する。
- 3) 英文原稿に関しては，A4版ダブルスペースとし，構成は和文論文に準ずる。  
別紙に和訳（300字以内）を添える。
- 4) 図，表および写真には図1，表1および写真1などの番号をつけて本文のなかに挿入しておく。ただし，挿入しにくい場合は，本文とは別にまとめておき，原稿の右欄外にそれぞれの挿入希望位置，または挿入希望ページを指定する。図，表，写真は原則としてそのまま掲載できる明瞭なものとする。
- 5) 玉野総合医療専門学校の表記は，初出で「岡山県A専門学校」とし，以後「A校」とする。ただし，報告および資料についてはこの限りではない。

## 2. 文献の記載方法及び例

1) 文献は本文の引用箇所の肩に 1) 1~5) 1, 3~5) などの番号で示し、本文の最後一括して引用番号順に記載する。文献番号は、数字には century 半角を、片括弧には全角を使用する。

2) 文字は MS 明朝 9.0 フォントを使用する。

3) 文献の記述形式は、記載例を参考としてください。

### (1) 雑誌の場合

著者名：タイトル. 雑誌名 巻：開始頁—最終頁，西暦年とする。著者名は 5 名までを原則として全員記載するが、6 名以上の場合は 3 名まで記載し、*et al.*又は～他とする。氏名の表記方法は例を参照する。和文雑誌は省略しない。欧文雑誌名は、通常省略形でよい。

(例)

森島恒雄：インフルエンザ脳症. 岡山医学会雑誌 116：69-74, 2004

Okazaki Y, Iqbal M, Okada S: Suppressive effects of dietary curcumin on the increased activity of renal ornithine decarboxylase in mice treated with a renal carcinogen, ferric nitrilotriacetate. *Biochim Biophys Acta* 1740: 357-66, 2005

### (2) 単行本の場合は、版、開始頁—最終頁は省略可能。

著者名：書名（発行所所在地：発行所，版，西暦発行年）開始頁—最終頁  
編著の場合は、

著者名：タイトル. 編者名. 書名（発行所所在地：発行所，版，西暦年）開始頁—最終頁

(例)

黒木登志夫：がん遺伝子の発見,がん解明の同時代史（東京：中央公論社，1996）

古野純典：5つのがんの記述疫学的特徴. 廣畑富雄編. がんとライフスタイル（東京：日本公衆衛生協会,1992） 21-43

Ashley DJB: Evans' Histological Appearance of Tumours (Edinburgh, London, New York: Churchill Livingstone, 1978)

### (3) 翻訳書の場合

日野原重明監訳：臨床決断分析（東京：医歯薬出版，1992）(Weinstein MC, Finberg HV: Clinical decision analysis, Philadelphia: WB Saunders, 1980)

### (4) Web サイトの場合

著者名：Web ページの題名. Web サイトの名称，（媒体表示），入手先，（入手年月日）

厚生労働省：発達障害者支援施策. 厚生労働省ホームページ，（オンライン），[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/shougaishahukushi/hattatsu/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaishahukushi/hattatsu/index.html)，（参照 2017-05-18-14:15）